

令和4年度 第1回 多治見市学校給食運営委員会議録

- 日時 令和4年7月27日(水) 14:00～15:30
- 場所 多治見市食育センター 2階研修室
- 委員出欠席 出席委員 11名 若尾委員、玉置委員、前川委員、林委員、山中委員
後藤委員(令和3年度監査委員)、西尾委員、加藤委員、
杉原委員、中村委員、
桜井委員
- 事務局出席者 6名(教育長、副教育長、食育推進課長、
食育推進課職員3名)
- 欠席委員 2名 石田委員、松原委員

○会議次第

1. 開会のことば
2. 教育長あいさつ
3. 自己紹介
4. 議事

議第1号 多治見市学校給食運営委員会会長及び副会長の選出について

認第1号 令和3年度多治見市学校給食会計決算の認定について

議第2号 令和4年度多治見市学校給食会計監査委員の選出について

議第3号 学校給食基本方針の一部改定について

議第4号 物価高騰にともなう学校給食費の一部公費負担について

議第5号 学校給食費の滞納整理に向けた取組及び私会計の維持について

その他

- ・学校給食申込書約款の一部改定について(報告)
- ・食育推進の取り組みについて(報告)
- ・アレルギー除去食対応の一部前倒しについて(報告)
- ・食育センターについて

○会議内容(要点) 以下のとおり

(食育推進課長)

ただいまから令和4年度第1回多治見市学校給食運営委員会を開会する。

(教育長)

本日は、ご多忙の中、お足元の悪い中お集まりいただき、厚く御礼申し上げます。コロナの第7波の感染が広がっている中で、ここ、食育センターも子どもたちの欠席に応じて食数の変更等の対応に追われている。夏休みに入り、少しほっとしているところである。食育センターをオープンして1年が経った。10の小中学校、幼稚園に給食を提供するとともに、食育の推進を図っている。小学校3年生の施設見学や、親子の食育講座等を実施してきた。多治見市の食育を推進しようということで、進めている。昨年この委員会で、給食費の値上げを決定した。ただ、昨今の物価の高騰により、給食費が不足している状態である。本日の委員会では、対応策についてご議論をお願いする。また、教員の働き方改革の方策として、国が学校給食会計の公会計化を推進している。その考え方についても、本日説明させていただくが、多治見市としては、従来のあり方のまま、少しでも教員の負担軽減に繋がる方法を提案させていただく。本日は、決算報告、基本方針等の議題があるが、みなさんのご意見を伺い、ご議論いただきたい。

(食育推進課長)

今年度新たに委員に委嘱された方々については、本来であれば委嘱状をお一人お一人手渡しさせていただくところではあるが、時間の都合上、机上に置かせていただいている。今年度第1回目の会議となるので、各委員から名簿順に自己紹介を願う。

(委員)

順次、自己紹介を行う。

(食育推進課長)

これより、議事に入る。今回の議事録の署名委員として、後藤委員及び杉原委員を指名させていただく。後日会議録への署名をお願いする。

また、多治見市情報公開条例第23条の規定により、本運営委員会の会議は一部公開とさせていただく。それでは、この委員会の成立について、本日の会議は、全委員数13名、出席委員11名で過半数に達している。よって、多治見市学校給食運営委員会条例第6条第3項の規定により、委員会が成立したことを報告する。

それでは、議案に移る。議第1号、多治見市学校給食運営委員会会長及び副会長の選出について、いかが取り計らったらよいか。

(食育推進課長)

事務局案を提案させていただいてよろしいか。

(委員)

事務局に一任の声

(事務局)

会長に多治見市議会厚生環境教育常任委員長の玉置委員、副会長に多治見歯科医師会代表の林委員を推薦したい。ただいまの事務局案に異議はないか。

(委員)

異議なし。

(食育推進課長)

異議なしと認めて、会長を玉置委員、副会長を林委員に決定する。会長が選出されたので、議第2号議案以降は会長に議事進行を願う。会長、副会長は席をご移動いただき、一言ずつ挨拶をお願いする。

(会長)

この仕事をする前に、飲食に関する仕事をしており、食には非常に興味関心がある。先日、この食育センターで、親子のソースづくり体験を見学させていただいた。この素晴らしい施設をもっともっと活用して行っていただければと思う。

(副会長)

歯科の視点からも、食べることというのは成長に直結するものであり、多治見市の学校給食も様々な工夫をされていると思うので、今後も児童生徒の成長に繋がっていくと良いと考える。

(会長)

それでは、これから議事を進める。

認第1号、令和3年度多治見市学校給食会計決算の認定について、事務局より説明を願う。

(事務局)

- ・ P. 5の決算書について説明。
- ・ P. 5～P. 12の調定額一覧、業者別支払明細について説明。

(会長)

ただいま、決算の内容について、事務局から説明があった。令和3年度監査委員の後藤委員から監査結果について報告を願う。

(令和3年度監査委員)

令和3年度監査委員の私、後藤佐恵子及び山本奈美子委員が、令和4年7月6日に多治見市食育センターにおいて証拠書類・帳簿等により決算監査を執行したところ、適正に処理されていたことを報告する。

(会長)

ただいまの決算認定並びに監査報告に対して、意見はないか。

(委員)

なし

(会長)

質問がないようなので、認第1号、令和3年度多治見市学校給食会計決算の認定について、原案のとおり認定してよいか。

(委員)

異議なし。

(会長)

異議なしと認める。よって、認第1号は原案のとおり認定された。

(会長)

次に、議第2号、令和3年度多治見市学校給食会計監査委員の選出について、事務局から説明を願う。

(事務局)

先例にならない、監査委員として委員の中から2人選任いただきたい。

(会長)

ただいまの会計監査委員の選出について、いかが取り計らったらよろしいか。

(委員)

事務局一任

(事務局)

事務局案として、小泉中学校の西尾委員と、多治見市PTA連合会書記の松原委員を推薦したい。

(委員)

異議なし。

(会長)

異議なしと認める。西尾実委員と、松原美和委員が令和4年度多治見市学校給食会計監査委員に選出された。

(会長)

次に、議第3号、多治見市学校給食基本方針の一部改定について、事務局から説明を願う。

(事務局)

「多治見市学校給食基本方針の一部改定」について説明。

(会長)

ただいまの内容について、質問・意見はないか。

(会長)

質問がないようなので、お諮りする。議第3号、多治見市学校給食基本方針の一部改正について、原案のとおり認定してよいか。

(委員)

異議なし。

(会長)

異議なしと認める。よって、議第3号は原案のとおり認定された。

(会長)

続いて、議第4号、物価高騰に伴う学校給食費の一部公費負担について、事務局から説明願う。

(事務局)

「物価高騰に伴う学校給食費の一部公費負担について」について説明。

(会長)

ただいまの内容について、質問・意見はないか。

(会長)

質問がないようなので、お諮りする。議第4号、物価高騰に伴う学校給食費の一部公費負担についてについて、原案のとおり認定してよいか。

(委員)

異議なし。

(会長)

異議なしと認める。よって、議第4号は原案のとおり認定された。

(会長)

続いて、議第5号、学校給食費の滞納整理に向けた取り組み及び私会計の維持について、事務局から説明願う。

(事務局)

「学校給食費の滞納整理に向けた取り組み及び私会計の維持について」について説明。

(会長)

ただいまの内容について、質問・意見はないか。

(会長)

質問がないようなので、お諮りする。議第5号、学校給食費の滞納整理に向けた取り組み及び私会計の維持についてについて、原案のとおり認定してよいか。

(委員)

異議なし。

(会長)

異議なしと認める。よって、議第5号は原案のとおり認定された。続いて、その他について、事務局からご報告を願う。

(事務局)

「学校給食の申込書約款の一部改定について」

「食育推進の取り組みについて」

「学校給食食物アレルギー除去食対応の一部前倒しについて」

「食育センターについて」

について説明。

(会長)

ただいまの説明、報告いただいた4点について、質問・意見はないか。

(会長)

以上で本日の議題はすべて終了した。せっかくの機会なのでご質問等ある方はご発言願う。

(委員)

夏休み前に保護者アンケートを取った際に、保護者から最も多かったのが「給食中に子どもたちがしゃべれるようにしてほしい」という意見であった。保護者にとっても給食というのは、関心があり、楽しい場であってほしいという思いがあるのだということが、アンケートからよくわかった。2点目は、本校卒業生の元宝塚歌劇団の橘幸さんが来校された際、多治見市学校給食のインスタグラムをフォローされているとお話しされていた。遠くに住んでいる方も、給食に関心をもっていただいているということをお伝えしたかった。夏休み明けには、本校にまた来ていただけることになっており、その際には、給食を召し上がっていただくことにしている。続いて、昨年もこの委員会に参加させていただき、物価が高騰しているなかで、昨年度10円の値上げをしたが、今後食材費が上がっていく中で、この先、給食費が不足することがないかと心配している。保護者の負担のことを考えてくださっていると思うが、本当に必要であれば、給食費を値上げしていくということも必要ではないかと考えている。最後に、先ほど残量調査の結果を見せていただいた。本校においても残菜が出る。特に、野菜を残す児童が多い。中でも食材の味をできるだけ生かした味付けの時に残すことが多く、その味はどちらかということ子どもたちが食べている味付けよりも薄い場合が多いように思う。もう少し塩分を増やした方がよいのではないかと栄養士の先生にも聞いたことがあり、国が定める学校給食における塩分摂取量の基準があり、それに沿ってやっているとのことであったが、基準も大切だが、与えられた量の給食を食べない子どもがいると、その分栄養価が不足することになるのではないかと。子どもたちがもう少し給食を食べられるといいと思う。特に多治見市は暑いので、熱中症対策として夏場は塩分量を増やすということも考慮していただけないかと考える。給食は調理場から配送していただいているが、時間内に配送できるよう一生懸命やっていると聞いている。栄養士が委託業者の段取りが配送するのにギリギリの状態で、その中で、仕様どおりの調理ではなく少し端折っている部分があると聞く。味には影響がないようにしているとは聞いているが、多少影響がある可能性もあるので、委託業者への指導をお願いしたい。

(事務局)

黙食についてだが、校長会等の場でも黙食は徹底していることである。県からも、マスクを外している時が最も感染リスクが高まるということを指摘されており、簡単に「話してよい」とは言いづらい。ただし、間隔をとる、食べ終わった後で少し話をする等メリハリのあるマスクの活用方法等も、県に問い合わせながら、楽しい給食時間になるように、と市教委として考えている。感染防止対策を第一として、どう折り合いをつけていくかだと思う。

(委員)

本校でも、そこが一番感染リスクが高いというのは、承知している。保護者にはこういった願いがあるのだということで、学校では、基本黙食で、少しでも楽しい時間になるよう工夫していきたいということを保護者に伝えるつもりである。

(事務局)

塩分についてだが、栄養士としては薄味を推進しており、研修会等にも参加している中で、よく質問が出るのが、先ほどのような熱中症対策についてである。そういった場では、「普通の生活をされている方であれば、通常の食事で十分塩分はとれており、塩分を追加でとる必要はない。」との回答があった。アスリート等であれば、スポーツドリンクや塩分タブレット等で塩分を補給する必要があるが、そういった方以外であれば、通常の食事の塩分で十分であるとのことであった。給食は、日本人の摂取基準に基づいた塩分量となっているため、通常の生活であれば問題ないのでは、と考える。

(会長)

食事というのはバランスが大切で、好きなものばかり食べるのではなく、野菜を摂るということは、大人でも子どもでも大切なことである。本来であれば、旬のもの、露地ものを摂ることが大切だが、なかなかそれが難しく、冷凍ものを使う場合もあるが、子どもたちが少しでも多くの野菜を摂れるような工夫をみなさんで考えて、おいしい給食を楽しい時間として過ごせるよう、頑張ってもらいましょう。

(事務局)

給食費の値上げについての話があったが、まずは今年度については、不足する分について一部公費負担をすることで対応していきたいと考えている。

(事務局)

委託業者についてであるが、市が委託しているため、そこに全部任せるということではなく、各調理場が確実に運営できるよう、食育推進課と連携し、引き続き指導を継続していく。

(委員)

食育だよりについてであるが、保護者として、献立表や食育だよりは楽しみにしており、子どもが持ち帰ったものを見ながら、「今月はこんなのが出るんだね」といった会話ができていた。現在は、ロイノートでデジタル配信になってしまった。親としては、デジタル配信になったことで、わざわざそのページを開いてみるということが面倒で、見る機会が減ってしまった、見にくいので見なくなってしまうという声も聞く。栄養士さんが一生懸命作ってくださっているのがわかるので、デジタル配信になったことによって、見ない保護者が増えているとしたら、もったいないと感じている。

(事務局)

多治見市教育委員会としてICT化を進めており、その一環として食育だより等をデジタル配信に切り替えた。大変重要なお意見をいただいたので、うまく活用できる形を引き続き検討していきたい。

(会長)

ICT教育もそうだが、タブレットなどの端末は、先生方、栄養士さんの一つのツールであり、ア

ナログが基本だと思う。ICT機器と紙媒体の上手な使い分けについて、みなさんとともに考えて参りたい。

(会長)

その他、ご意見・ご質問はないか。

(会長)

これをもって令和4年度第1回多治見市学校給食運営委員会を終了する。